

# カレイ



かれんと いんふおめ〜しょん

2005.12.10 発行：No.51  
TEL 03-3985-2628  
立教大学図書館

## 目次

参考室って何？	p1
参考室の利用法(基本編)	p2
武蔵野新座図書館の名称を変更します	p3
心理学科分室は2005年度で閉室します	p3
池袋本館を試験的に早朝開館します	p3
<読書ナビ>13回 法律を学ぶための10冊	p4

## 「参考室」って何？

皆さんは図書館本館（旧館）にある参考室カウンターをご存知ですか？ また利用されたことはありますか？  
どのように利用できるのか知らない方も多いのではないのでしょうか。大きく分けて下記の4つのサービスを行っています。なお、1～3については、本学に所蔵していない資料に限り行っています。

### 1. 他大学への紹介状発行

他大学所蔵の資料を見に行きたい、そのための所蔵調査と訪問に必要な紹介状を発行します。

### 2. 他大学等所蔵資料の複写依頼

他大学所蔵資料に掲載されている論文（記事）の複写を郵送で取り寄せることができます。申し込みに際しては、掲載ページ等が必要です。調べ方がわからない場合には、カウンターにてお問い合わせください。

### 3. 他大学等所蔵資料の取り寄せ

他大学所蔵資料を立教大学図書館本館に取り寄せて館内で閲覧することができます。

### 4. 参考質問（レファレンス・サービス）

事項調査、めざす資料をどのように探したらいいのか、どの資料を見ればわかるのか、図書館係員がお手伝いします。

1～3についてはNacsis-Webcat(立教大学図書館HPよりリンク)の検索結果を添えてお申し込みください。



参考室カウンター（大学正門、チャペル、大ヒマラヤ杉が窓越しに見える）

大学院学生の方はこれらのお申し込みを人文、社会、自然の各学系図書館でも受付しております。

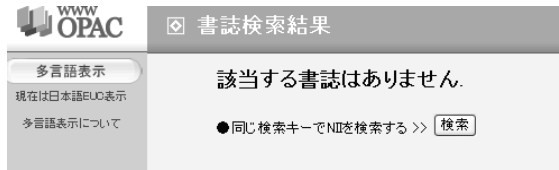
武蔵野新座キャンパス所属の学部学生、大学院学生についてはいずれも武蔵野新座図書館でも受け付けております。詳しくは窓口にお問い合わせください。

なお、参考室では上記のようなサービスのほかに、他大学等から本学所蔵資料を利用したいという方への総合窓口となっています。参考室は、図書館間相互協力のいわば顔としての役割を担っているのです。

# 参考室の利用法（基本編）

参考室で行っているサービスのうち、今回は紹介状発行の申し込み方法についてお話ししたいと思います。

1. 探している資料を立教大学OPACで検索し、立教大学にないものには右記のような表示が出ます。



2. 「同じ検索キーでNIIを検索する」のところをクリックすると、NII (国立情報学研究所) のデータベースを検索し、立教大学以外の他大学、他機関等の所蔵情報を検索することができます。

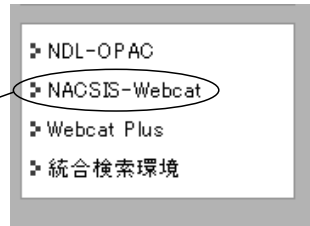
※山手線沿線コンソーシアム加盟大学の加盟館に所蔵されている場合は本学の学生証で直接利用ができます。(詳しくは本学ホームページ「山手線沿線コンソーシアム」項参照)

3. それでは他大学で所蔵している資料を利用したい場合について、お話ししましょう。

他大学等を利用する場合には、通常、事前に所蔵調査し利用したい資料の照会をした上で、紹介状等を持って訪問する必要があります。参考室でこの所蔵調査(事前確認)を行っていますが、これらを行うためには、所蔵の典拠となる情報(NacsisWebcatまたは訪問先大学OPACの検索結果などをプリントアウトしたもの)を添えて申し込んでいただくことになります。なお、池袋キャンパスでは7号館メディアライブラリーで検索、プリントアウトができます。

## [例] Q. 企業経営、ベンチャーなどに関する本を調べる

1. 立教大学図書館ホームページを開きます。左端のメニューから、Nacsis-Webcatを選択



2. 検索画面にキーワードを入力します。(書名、著者名、ISBNなどからも検索できます)



3. 検索結果が出てきたら、(複数件ある場合は中から選んで) 書名の部分をクリックします。



4. その資料をどこが所蔵しているかの結果一覧が出ます。お申し込みの際には、この用紙をプリントアウトして参考室に持ってきてください。(他大学に文献複写依頼・図書の借用などを依頼される場合も同様です)

NACSIS Webcat: 詳細表示	
[利用の手引き]    [検索画面に戻る]	
企業経営/ベンチャー・NPO支援のスペシャリスト / 税理士新聞特別取材班編 手引き/ウケイエイベンチャー NPO シェンノ スペシャリスト> -- (BA7000 508X) 東京 : エヌビー通信社, 2004.8 276p ; 28cm. -- (シリーズ《目的別》会計事務所ガイド) -- 2004 ISBN : 4900840418(2004) 別タイトル: 企業経営ベンチャーNPO支援のスペシャリスト 著者標目: 税理士新聞編集部<ゼイリシ シンブン ヘンシュウ> 分類: NDC9 : 336.989 ; NDLC : DH571 件名: 税理士	
所蔵図書館 4	
横浜市 経済研 : 2004 336.98  48  04 300026982 礼国院大 図 : 2004 336.98  2E 200592 津島大 : 2004 336.989  22 1112828765 法大小金井 図 : 2004 336.9  22  2004 08094498	
[利用の手引き]    [検索画面に戻る]	
Copyright(C) 2002 NII ALL RIGHTS RESERVED	

5. 参考室カウンターにて、所蔵調査申し込み用紙等に来館希望日(第二希望まで)や所属、氏名、資料名等必要事項を記入します。プリントアウトした検索結果をそこでご提出ください。訪問先にもよりますが、所蔵調査に数日を要する場合がありますので、日数にはゆとりを持ってお申し込みください。
6. 所蔵調査の相手先からの回答結果を確認してから訪問していただくようになります。利用が認められた場合は、参考室にて紹介状等必要書類をお渡しします。
7. 紹介状等必要書類と本学学生証を持参の上、相手先に来館してご利用ください。

なお、論文等の文献複写を依頼する場合には、文献複写申込書に書名のほか、掲載ページ数、著者名、論文名を書くこととなります。論文検索の際には立教大学ホームページから入れるオンラインデータベースを利用してください。NII(国立情報学研究所)のCi-Niiや、個人でも申し込みすることのできる国立国会図書館のNDL-OPACなども便利です。

## 武蔵野新座図書館の名称を変更します

2006年4月1日から、「武蔵野新座キャンパス」は「新座キャンパス」に呼称変更します。これに伴い武蔵野新座図書館も「新座図書館」に名称変更します。NACSIS-Webcatでの表示は「立大武蔵野」から「立大新座」に変わります。なお、同じキャンパスにあります「新座保存書庫」は名称変更ありません。

現在武蔵野新座図書館は改修工事中ですが、新たに生まれ変わる新座図書館については次号カレイで特集します。

## 心理学科分室(9号館2F)は2005年度で閉室します

池袋キャンパス9号館2階の人文科学系図書館心理学科分室は、新座キャンパスの現代心理学部開設に伴い、2006年2月4日(土)をもって閉室いたします。分室に所蔵されていた図書は4月まで現代心理学部への移管のため利用できません。ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願い致します。

心理学関係の新着雑誌は2006年4月より新座図書館に配架され、分室に所蔵されていた単行本と製本雑誌の大部分は一時的に12号館社会科学系図書館の書庫に置かれることとなります。また、利用頻度の高い製本雑誌は人文科学系図書館5階書庫に置かれますのでOPACで所在を確認してください。

これらの図書は、夏休み以降に新座キャンパスに順次移送され新座図書館の所蔵資料となります。また、池袋キャンパスの心理学科2年生の方が利用する「実験用図書」については、2006年度中は人文科学系図書館1Fの現大学院生用閲覧室に置かれますので、心理学科分室に置かれていた時と同様にご利用ください。2007年度以降は心理学科分室にあった図書・雑誌はすべて新座図書館に所蔵されることとなります。

## 池袋本館を試験的に早朝開館します

期末試験(授業内試験)期間中下記の日程で、池袋本館の閲覧室を午前8時30分から利用できるよう、早朝開館を試行します。

2005年度後期末試験期間: 12月19日(月)、1月7日(土)、10日(火)~13日(金)

「法律を学ぶための10冊」をあげるということは全く無理な話である（主要な法学領域だけで優に10を超える）。そこで、法学の領域を無視し、また、実定法の解釈論を展開した体系書や教科書はもちろん、法学入門的な本をも避け、法学や法律の世界を垣間見るといった観点から、予断と偏見に基づいてあげてみよう。

①日本の近代的な法制度は明治期に西欧法を継受したことに始まる。この継受期の事情を知ることは、日本の法制度の出発点を知る意味で、重要である。大久保泰甫著『日本近代法の父 ポワソナード』を読めば、当時の事情を知ることができる。

②日本の法学は、明治期における法の継受を経て、ドイツ法の影響が強まる法の解釈論の体系が固まる時期を迎え、さらに、戦後は、アメリカ法の影響もあって日本流の法学が形成される時期を迎えた。末弘巖太郎、牧野英一、我妻栄、宮沢俊義など各法学領域の当時のリーダーで行われた座談会『日本の法学—回顧と展望』は、大変興味深い議論と座談で充ちている。

③裁判とは、法を解釈し認定された事実に適用する、という公式的、機械的なプロセスによってなされるものなのだろうか。現実には、もっと違ったものではないのか。裁判官の心理やパーソナリティは影響しないのか。アメリカのリアリズム法学が提起した問題は、わが国にも大きな影響を与えた。ジェローム・フランク著（古賀正義訳）『裁かれる裁判所上・下』は、リアリズム法学の立場から大きな影響を与えた文献である。

④明治期に作られた近代法の所有権と現実に行われていた慣行的な権利（入会権）とは、時に、激しく対立した。法学者として入会権を守る法廷闘争に参加した戒能通孝の『小繫事件』は、その記録であり、感動を呼ぶであろう。

⑤法というものを法学者の生き方から見るのも、法を理解する一つの興味深い方法である。川島武宜『ある法学者の軌跡』は、民法学者であり、法社会学の創始者の一人でもある川島博士の研究者としての生涯を自ら語った興味深い著述である。

⑥法を知るためには、裁判官の生活を垣間見、あるいは判決文以外の文章に接するのも一つの方法である。実務の領域だけでなく研究領域でも業績が多い著名な裁判官、倉田卓次著『裁判官の書齋』は、そのような意味で読むのに適している。

⑦民法典は、1998年に施行100年を迎えた。加藤雅信編集代表『民法学説百年史』は、この100年の間に発表された主要著書・論文200を選び、その紹介をしたものである。本格的な著書・論文の導入として有用な情報を提供している。

⑧20世紀末から21世紀に入って、日本の法制度は明治期以来、戦後に次ぐ二度目の大きな変革期を迎えている。その契機となったのは、法制度改革審議会意見書『21世紀の日本を支える司法制度』（2001年6月12日）※であるが、この改革は法科大学院、裁判員制度、行政訴訟法改革など多方面に及んでおり、その意味や成果などの分析については、たとえば、井上達夫編集『体制改革としての司法改革—日本型意思決定システムの構造転換と司法の役割』など、今後も研究が出されるであろう。

⑨法学の勉強の方法として、コンピューターを利用する方法がある。加賀山茂・松浦好治『法情報学』は、新たな試みをしている。

⑩最後に、法律の概念やことばで分からないものが出てきたならば、事典を引こう。この種のものとして、『法律学小事典』（有斐閣）と『コンサイス法律学用語辞典』をあげておく。

上記の資料はすべて立教大学図書館で所蔵しています。

※の資料は首相官邸ホームページ<http://www.kantei.go.jp/jp/sihouseido/report-dex.html>に掲載されています。

開館日程等については図書館のホームページでご案内しております。

(<http://opac.rikkyo.ac.jp>)

※その他変更がある場合はその都度、掲示でお知らせします。